

## 中高生世代アンケート調査

### 1 調査の目的

この調査は、「世田谷区子ども計画（第2期）」の策定にあたり、中高生世代の生活実態、悩み・不安、将来の考え方等を把握し、今後の若者施策の取組みの検討に資することを目的とする。

### 2 調査対象

世田谷区に居住する12～17歳（平成25年4月1日現在）の子ども  
各年齢1,000人ずつ計6,000人

### 3 抽出方法

住民基本台帳から無作為抽出

### 4 調査方法

郵送配布 - 郵送回収

### 5 調査時期

平成25年11月7日～11月25日

### 6 回収数・回収率

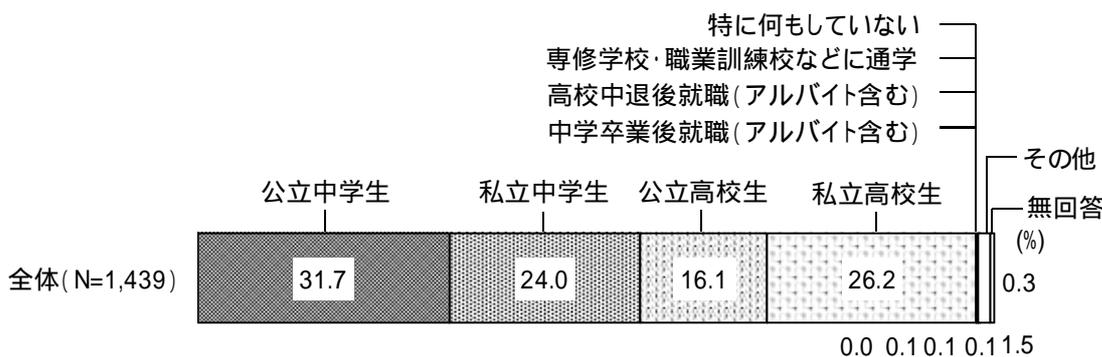
発送・配布数	有効回収数 (有効回収率)
6,000	1,439 (24.0%)

# 1 基本属性

## (1) 学年、就労等の状況(問1)

学年、就労等の状況は、「公立中学生」が 31.7%、「私立中学生」が 24.0%であり、合計すると 55.7%が中学生である。また、「公立高校生」が 16.1%、「私立高校生」が 26.2%であり、合計すると 42.3%が高校生である(図表 1 - 1 - )。

図表 1 - 1 - 学年、就労等の状況(全体)

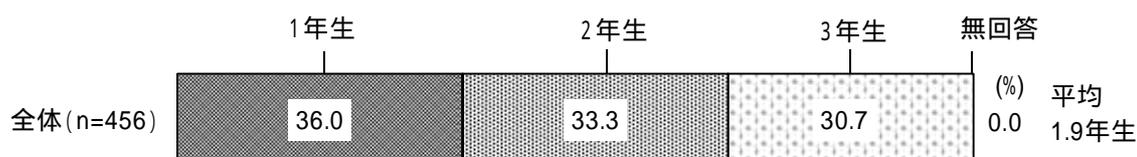


### 公立中学生の学年

公立中学生の学年は、いずれも 30%台であるが、「1年生」が 36.0%で最も多くなっている(図表 1 - 1 - )。

図表 1 - 1 - 公立中学生の学年(全体)

<公立中学と回答した人>

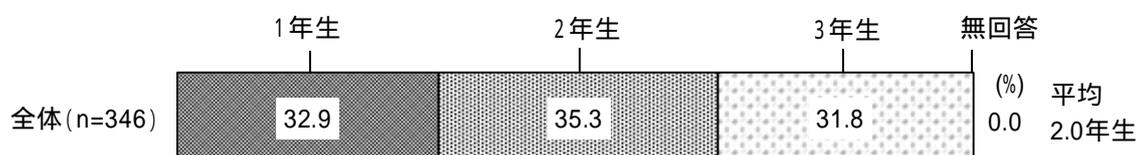


### 私立中学生の学年

私立中学生の学年は、いずれも 30%台であるが、「2年生」が 35.3%で最も多くなっている(図表 1 - 1 - )。

図表 1 - 1 - 私立中学生の学年(全体)

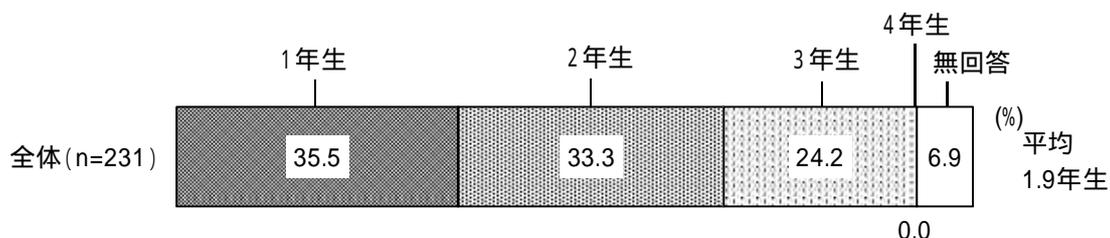
<私立中学と回答した人>



### 公立高校生の学年

公立高校生の学年は、「1年生(35.5%)」が最も多く、「2年生(33.3%)」が続いている(図表1-1- )。

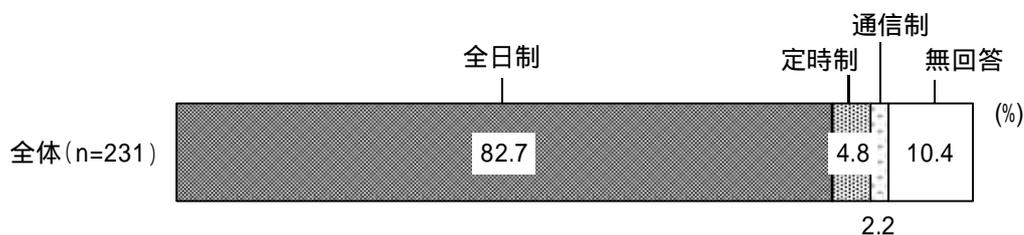
図表1-1- 公立高校生の学年(全体)  
<公立高校と回答した人>



### 公立高校生の課程

公立高校生の課程は、「全日制」が82.7%を占めており、「定時制」が4.8%、「通信制」が2.2%となっている(図1-1- )。

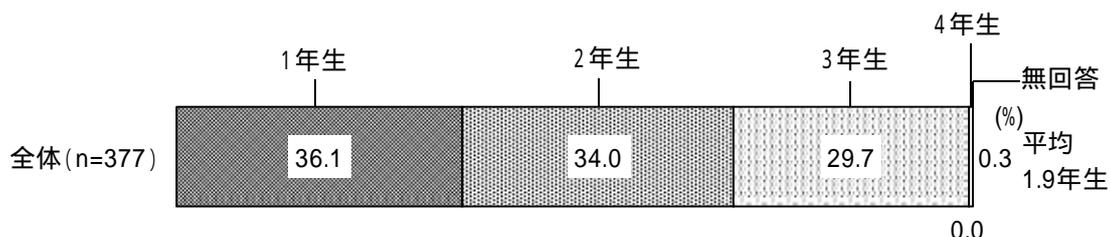
図表1-1- 公立高校生の過程(全体)  
<公立高校と回答した人>



### 私立高校生の学年

私立高校生の学年は、「1年生(36.1%)」が最も多く、「2年生(34.0%)」が続いている(図表1-1- )。

図表1-1- 私立高校生の学年(全体)  
<私立高校と回答した人>



(2) 性別 (問2)

性別は、「男」が45.7%、「女」が54.3%となっている (図表1-2)。

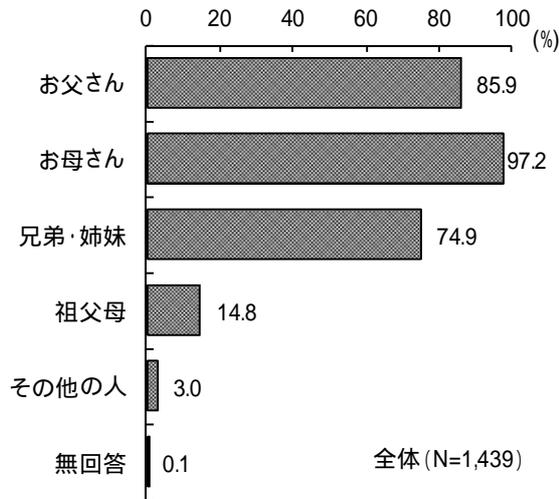
図表1-2 性別 (全体)



(3) 同居家族 (問3)

一緒に住んでいる人は、「お母さん (97.2%)」が最も多く、「お父さん (85.9%)」、「兄弟・姉妹 (74.9%)」が続いている。なお、「祖父母」と住んでいるのは14.8%となっている (図表1-3)。

図表1-3 同居家族 (全体)

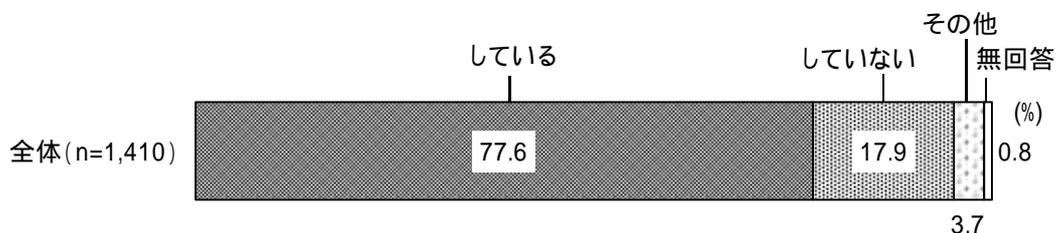


2 放課後の過ごし方

(1) 部活動の有無 (問4)

部活動の有無は、「している」が77.6%となっている (図表2-1)。

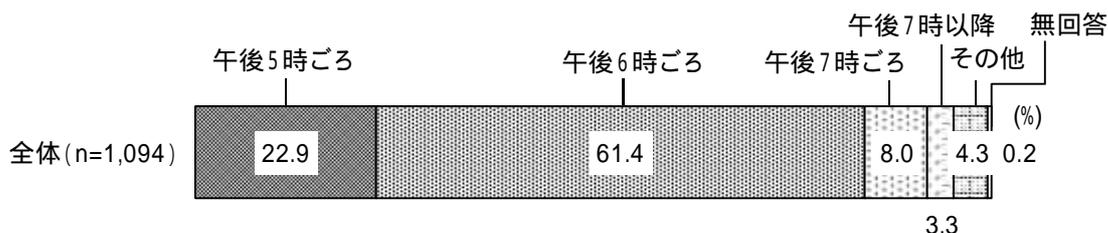
図表2-1 部活動の有無 (全体) <中高生と回答した人>



(2) 部活動の終了時刻 (問4 - 1)

部活動をしている人に終了時刻をたずねたところ、「午後6時ごろ」が61.4%で最も多く、「午後5時ごろ(22.9%)」、「午後7時ごろ(8.0%)」が続いている。なお、「午後7時以降」という回答も3.3%となっている(図表2 - 2)。

図表2 - 2 部活動の終了時刻(全体)  
 < 中高生で部活動をしていると回答した人 >



(3) 塾への通学の有無 (問5)

塾への通学の有無は、「通っている」が48.2%、「通っていない」が41.1%、「以前通っていたが、今は通っていない」が9.6%となっている(図表2 - 3)。

図表2 - 3 塾への通学有無(全体)  
 < 中高生と回答した人 >

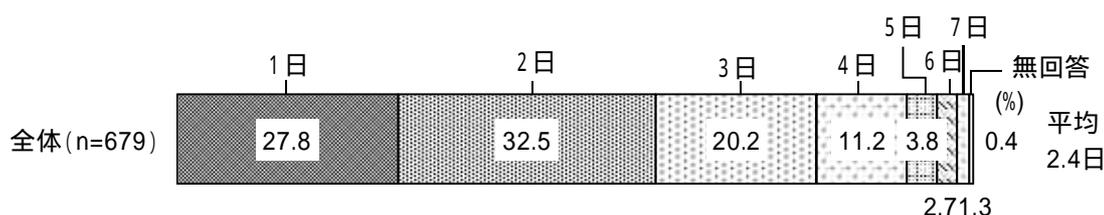


(4) 塾の週あたりの回数と時間 (問5 - 1)

塾の週あたりの回数

塾へ通学している人に週あたりの回数をたずねたところ、「2日(32.5%)」が最も多く、平均は2.4日となっている(図表2 - 4)。

図表2 - 4 - 塾の週あたりの回数(全体)  
 < 中高生で塾へ通学していると回答した人 >



**塾の週あたりの合計時間**

塾へ通学している人に週あたりの合計時間をたずねたところ、平均時間は5.7時間となっている（図表2-4- ）。

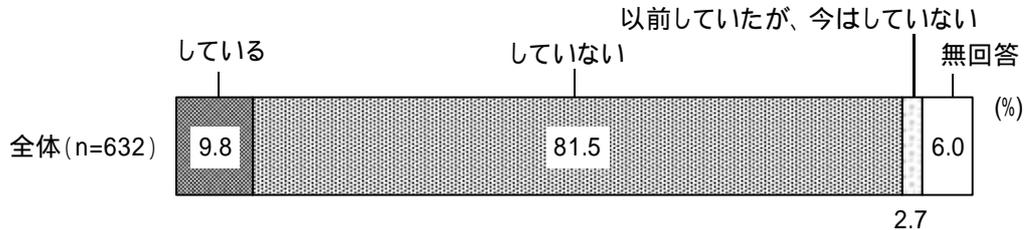
図表2-4- 塾の週あたりの合計時間（全体）  
 < 中高生で塾へ通学していると回答した人 >

	2時間以下	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間以上	無回答	平均
全体 ( n= 679 )	24.2	29.6	18.7	7.4	5.9	2.5	1.5	6.0	4.3	5.7 時間			

**(5) アルバイトの有無 (問6)**

アルバイトの有無は、「している」が9.8%となっている（図表2-5）。

図表2-5 アルバイトの有無（全体）  
 < 中学生以外と回答した人 >



**(6) アルバイトの月あたりの日数と収入 (問6-1)**

**アルバイトの月あたりの日数**

アルバイトをしている人にアルバイトの月あたりの日数をたずねたところ、平均は11.0日となっている（図表2-6- ）。

図表2-6- アルバイトの月あたりの日数(全体)  
 < アルバイトしていると回答した人 >

	3日以下	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日以上	無回答	平均
全体 ( n= 62 )	4.8	11.3	17.7	38.7	11.3	6.5	3.2	6.5	11.0 日			

### アルバイトの月あたりの収入

アルバイトをしている人にアルバイトの月あたりの収入をたずねたところ、「3～4万円（38.7%）」が最も多く、平均は44,426.9円となっている。（図表2-6-）

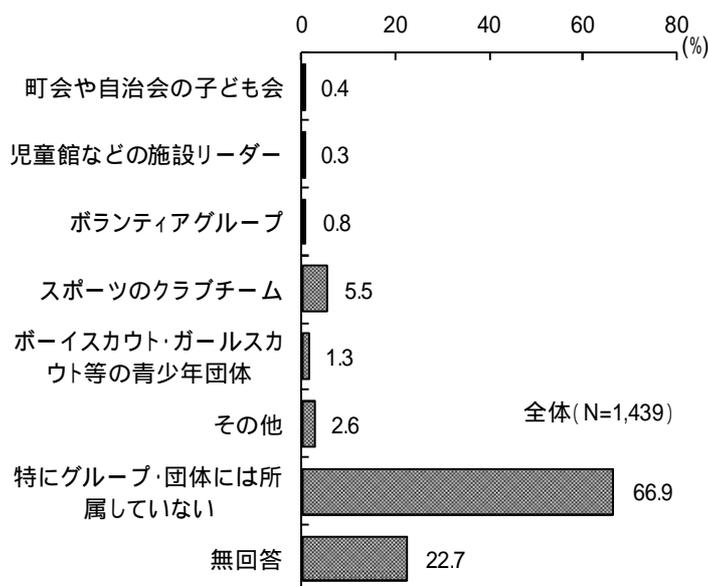
図表2-6- アルバイトの月あたりの収入(全体)  
 <アルバイトしていると回答した人>

	(%)									平均
	2万円以下	3万円～4万円	5万円～6万円	7万円～8万円	9万円～10万円	11万円～12万円	13万円～14万円	15万円以上	無回答	
全体 (n= 62)	17.7	38.7	25.8	4.8	1.6	3.2	0.0	1.6	6.5	44,426.9 円

### (7) 地域の中で所属しているもの(問7)

地域の中で所属しているものは、「特にグループ・団体には所属していない」が66.9%となっている。所属しているものでは、「スポーツのクラブチーム(5.5%)」が最も多くなっている(図表2-7)。

図表2-7 地域の中で所属しているもの(全体：複数回答)



### 3 日ごろの生活

#### (1) 平日・休日の起床時間と就寝時間 (問8)

##### 平日の起床時間

平日の起床時間は、「7時(47.2%)」と「6時(42.6%)」が40%台で多くなっている(図表3-1- )。

図表3-1- 平日の起床時間(全体)

	0 時 4 時	5 時	6 時	7 時	8 時	9 時	1 0 時	1 1 時	1 2 時	1 3 時	1 4 時	1 5 時	1 6 時	無 回 答
全 体 ( N=1,439 )	0.6	3.7	42.6	47.2	3.8	0.5	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3

##### 休日の起床時間

休日の起床時間は、「8時(29.5%)」が最も多く、「9時(22.8%)」、「7時(16.3%)」、「10時(13.5%)」が続いている(図表3-1- )。

図表3-1- 休日の起床時間(全体)

	0 時 4 時	5 時	6 時	7 時	8 時	9 時	1 0 時	1 1 時	1 2 時	1 3 時	1 4 時	1 5 時	1 6 時	無 回 答
全 体 ( N=1,439 )	0.5	1.0	6.9	16.3	29.5	22.8	13.5	4.1	2.6	0.1	0.0	0.0	0.0	2.7

平日の就寝時間

平日の就寝時間は、「23時(36.6%)」と「0時(32.9%)」が30%台で多くなっている(図表3-1- )。

図表3-1- 平日の就寝時間(全体)

	1 9 時	2 0 時	2 1 時	2 2 時	2 3 時	0 時	1 時	2 時	3 時	4 時	7 時	1 3 時	無 回 答
全 体 ( N=1,439 )	0.0	0.2	1.4	14.7	36.6	32.9	9.0	2.0	0.5	0.2	0.3	0.1	2.0

休日の就寝時間

休日の就寝時間は、「23時(33.5%)」と「0時(32.2%)」が30%台で多くなっている(図表3-1- )。

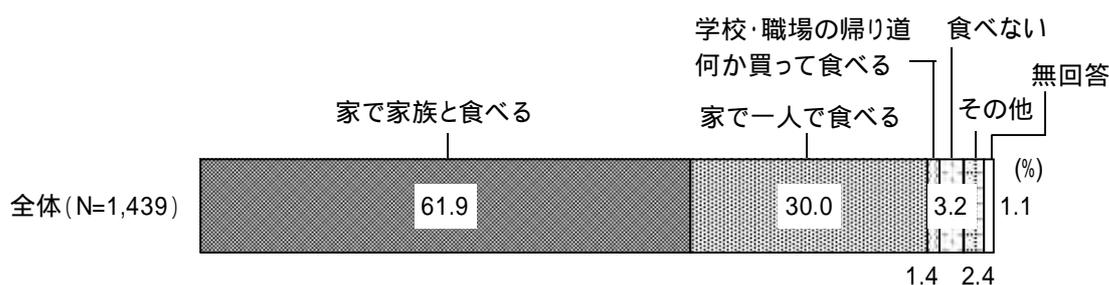
図表3-1- 休日の就寝時間(全体)

	1 9 時	2 0 時	2 1 時	2 2 時	2 3 時	0 時	1 時	2 時	3 時	4 時	7 時	1 3 時	無 回 答
全 体 ( N=1,439 )	0.0	0.2	0.8	11.1	33.5	32.2	11.5	5.0	1.4	0.5	0.2	0.3	3.2

(2) 朝ごはんの食べ方(問9)

朝ごはんの食べ方は、「家で家族と食べる」が61.9%、「家で一人で食べる」が30.0%となっている(図表3-2)。

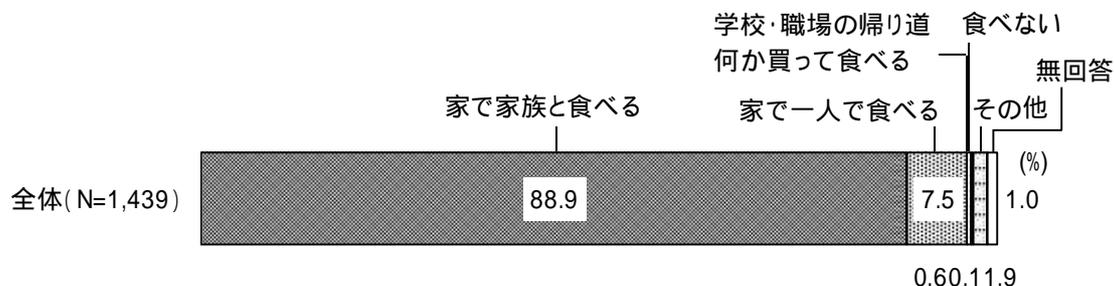
図表3-2 朝ごはんの食べ方(全体)



### (3) 夜ごはんの食べ方 (問 10)

夜ごはんの食べ方は、「家で家族と食べる」が 88.9%、「家で一人で食べる」が 7.5%となっている (図表 3 - 3)

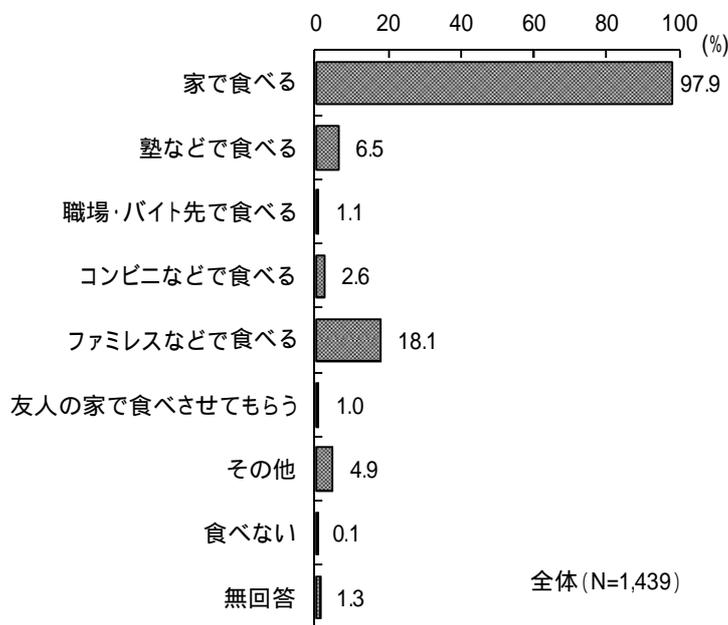
図表 3 - 3 夜ごはんの食べ方 (全体)



### (4) 夜ごはんを食べる場所 (問 11)

週に 1 回でも夜ごはんを食べる場所は、「家で食べる」が 97.9%となっている。その他には、「ファミレスなどで食べる」が 18.1%、「塾などで食べる」が 6.5%となっている (図表 3 - 4)

図表 3 - 4 - 1 夜ごはんを食べる場所と週あたりの回数 (全体：複数回答)



(5) 自宅にいると安らぐか(問12)

自宅にいると安らぐかは、「安らぐ」が88.8%、「安らがない」が4.8%となっている(図表3-5)

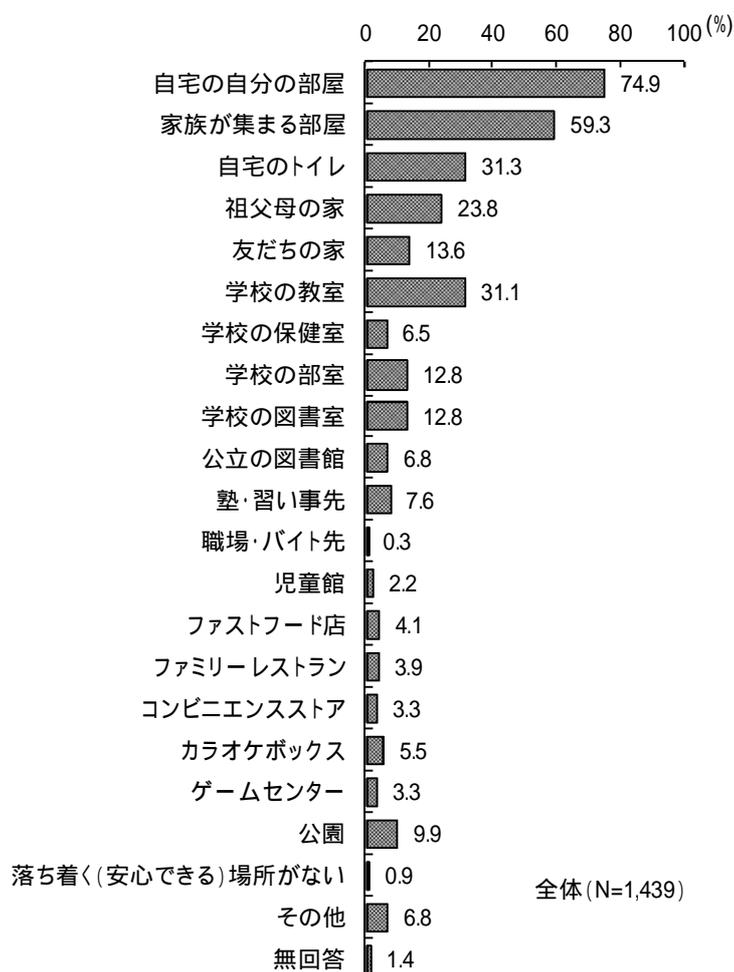
図表3-5 自宅にいると安らぐか(全体)



(6) ホットできて安心する場所(問13)

ホットできて安心する場所は、「自宅の自分の部屋(74.9%)」が最も多く、「家族が集まる部屋(59.3%)」、「自宅のトイレ(31.3%)」、「学校の教室(31.1%)」、「祖父母の家(23.8%)」が続いている(図表3-6)

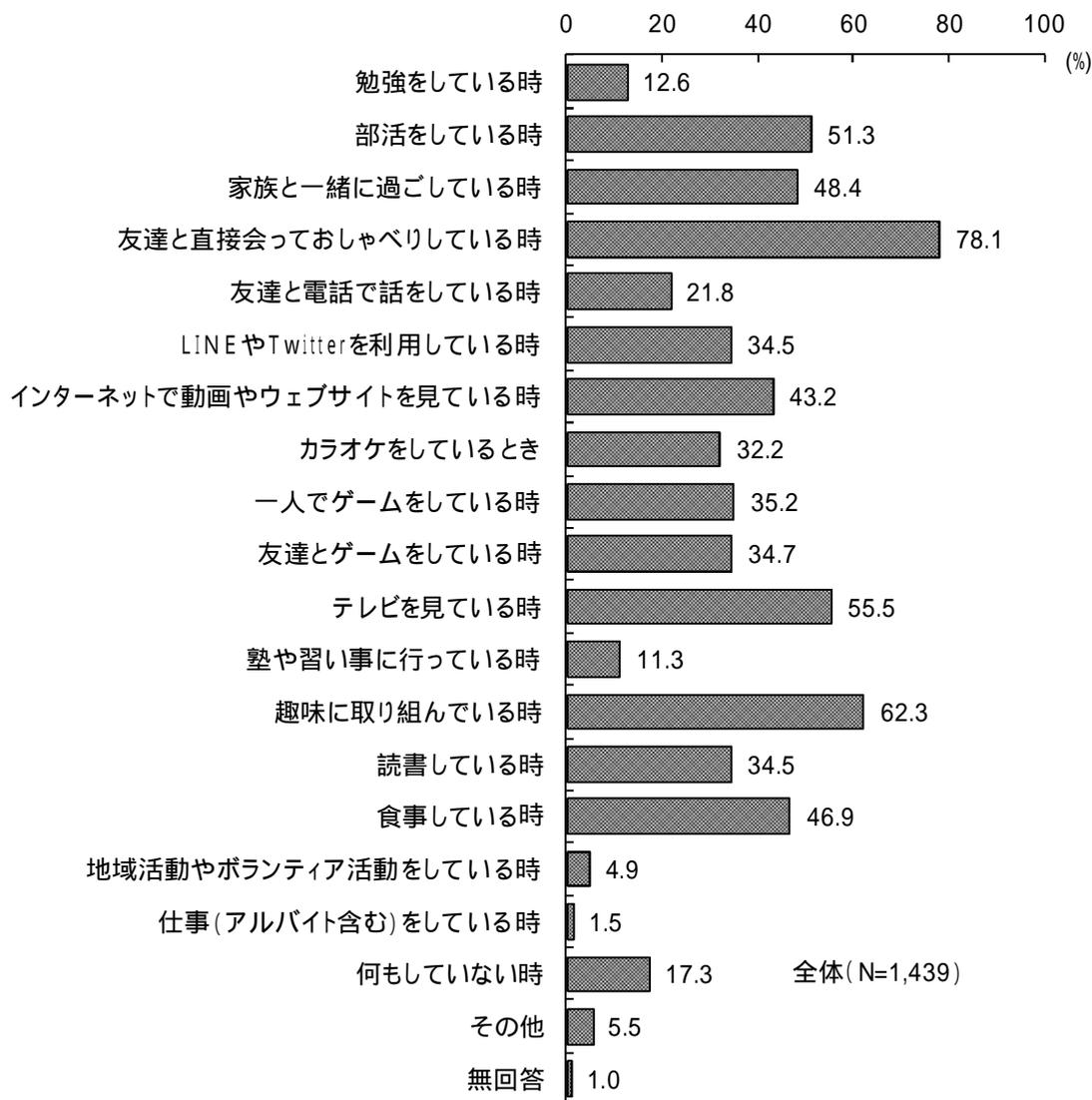
図表3-6 ホットできて安心する場所(全体:複数回答)



(7) 楽しいとき (問 14)

楽しいときは、「友達と直接会っておしゃべりしている時 (78.1%)」が最も多く、「趣味に取り組んでいる時 (62.3%)」、「テレビを見ている時 (55.5%)」、「部活をしている時 (51.3%)」が続いている (図表 3 - 7 )

図表 3 - 7 楽しいとき (全体：複数回答)

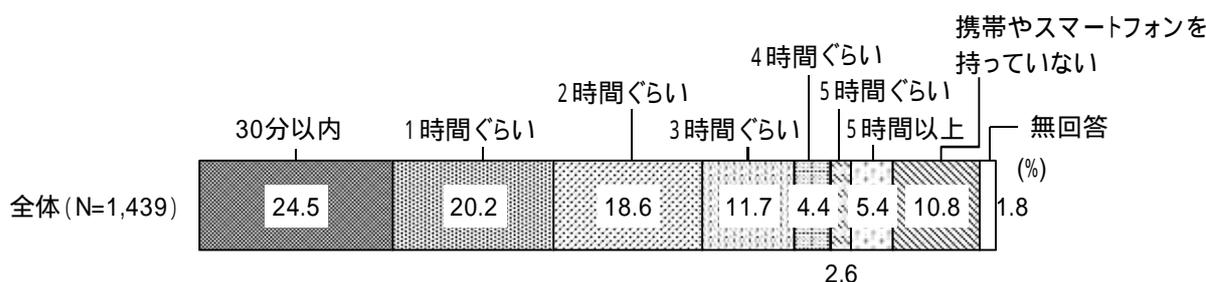


## 4 携帯電話、SNS の使用

### (1) 平日の携帯電話やスマートフォンの使用時間 (問 15)

平日の携帯電話やスマートフォンの使用時間は、「30 分以内 (24.5%)」が最も多く、「1 時間くらい (20.2%)」が続いている。約 3 時間以上利用している人は合計すると 24.1%であり、「5 時間以上」が 5.4%となっている。なお、「携帯やスマートフォンを持っていない」は 10.8%となっている (図表 4 - 1)。

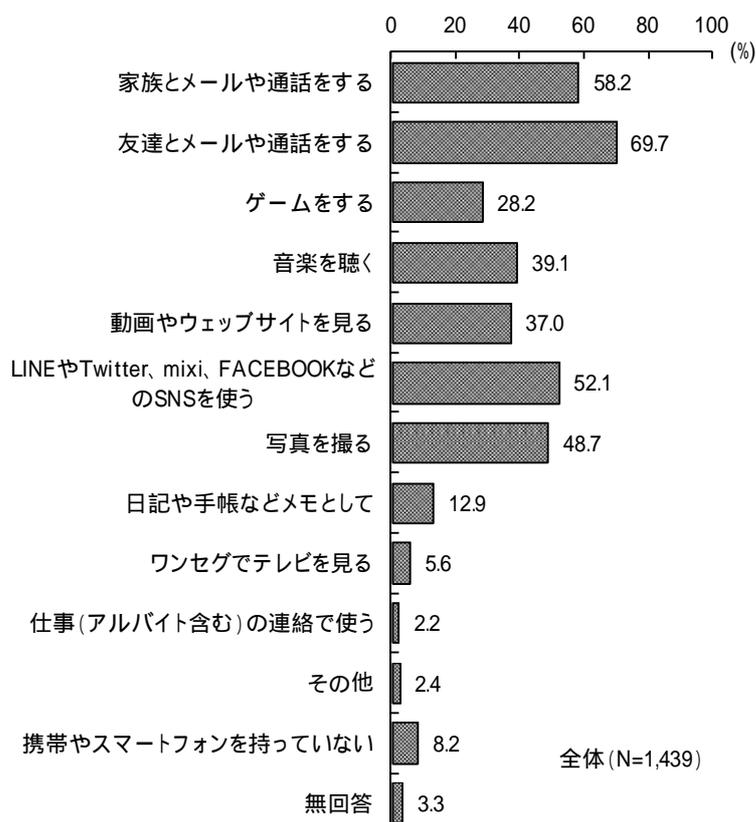
図表 4 - 1 平日の携帯電話やスマートフォンの使用時間 (全体)



### (2) 携帯電話やスマートフォンを使用する目的 (問 16)

携帯電話やスマートフォンを使用する目的は、「友達とメールや通話をする (69.7%)」が最も多く、「家族とメールや通話をする (58.2%)」、「LINE や Twitter、mixi、FACEBOOK などの SNS を使う (52.1%)」が続いている (図表 4 - 2)。

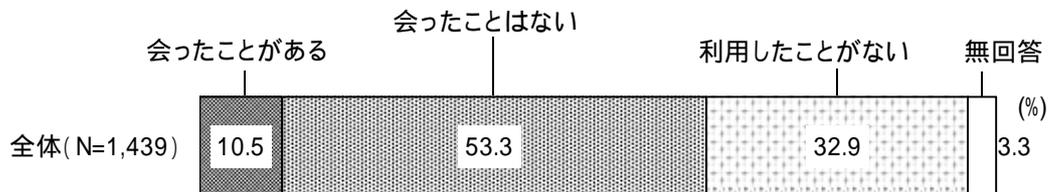
図表 4 - 2 携帯電話やスマートフォンを利用する目的 (全体：複数回答)



(3) SNS を使用して知り合った人と会った経験の有無 (問 17)

SNS を使用して知り合った人と会った経験の有無は、「会ったことがある」が 10.5%となっている (図表 4 - 3)。

図表 4 - 3 SNS を使用して知り合った人と会った経験の有無 (全体)



5 生活の満足度、悩み、不安

(1) 今の生活の満足度 (問 18)

今の生活の満足度は、「満足」が 50.4%、「どちらかという満足」が 35.4%であり、合計すると 85.8%となっている。一方、「不満」が 3.5%、「どちらかという不満」が 9.3%であり、合計すると 12.8%となっている (図表 5 - 1)。

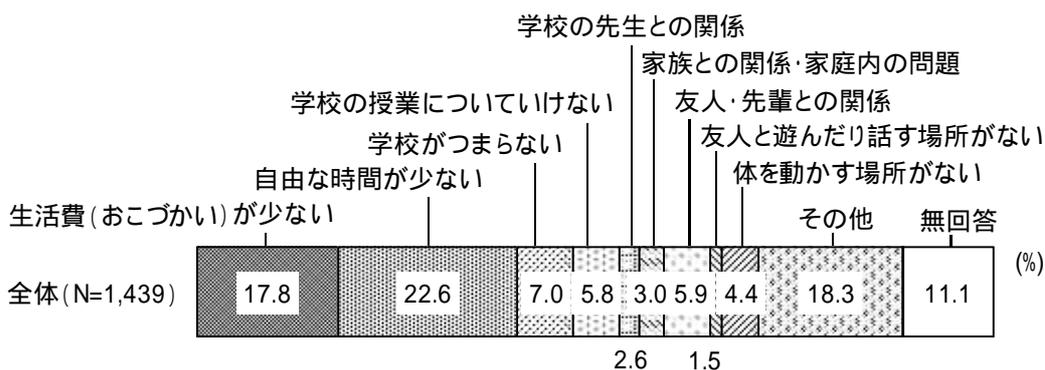
図表 5 - 1 今の生活の満足度 (全体)



(2) 今の生活への不満で最も大きなもの (問 19)

今の生活への不満で最も大きなものは、「自由な時間が少ない (22.6%)」が最も多く、「生活費 (おこづかい) が少ない (17.8%)」が続いている (図表 5 - 2)。

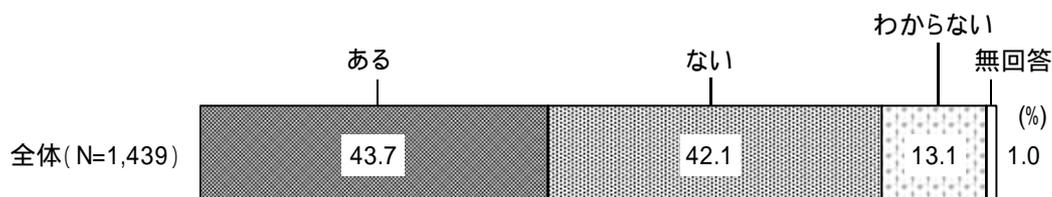
図表 5 - 2 今の生活への不満で最も大きなもの (全体)



### (3) 悩み、不安の有無 (問 20)

悩み、不安の有無は、「ある」が43.7%、「ない」が42.1%、「わからない」が13.1%となっている (図表5 - 3)。

図表5 - 3 悩み、不安の有無 (全体)

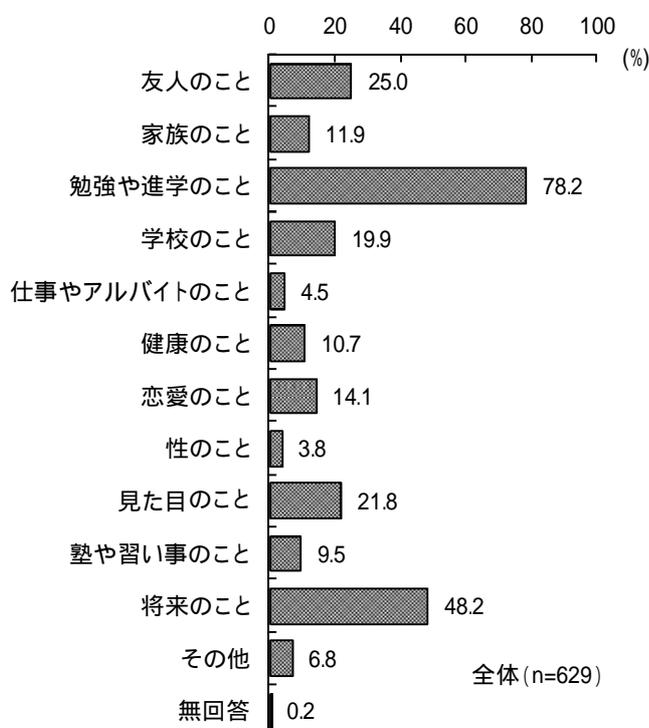


### (4) 悩み、不安の内容 (問 20 - 1)

悩み、不安がある人に、その内容をたずねたところ、「勉強や進学のこと (78.2%)」が最も多く、「将来のこと (48.2%)」、「友人のこと (25.0%)」、「見た目のこと (21.8%)」が続いている (図表5 - 4)。

図表5 - 4 不安の内容 (全体：複数回答)

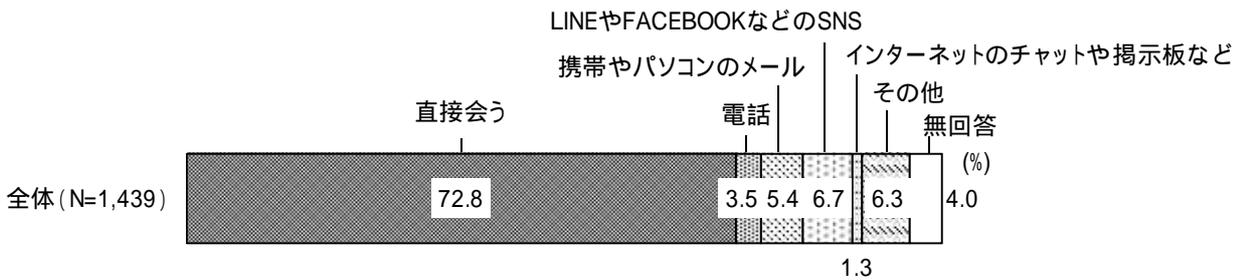
< 悩み、不安があると回答した人 >



( 5 ) 自分の悩みを話す場合の最良の方法 ( 問 21 )

自分の悩みを話す場合の最良の方法は、「直接会う」が72.8%を占めており、その他に「LINEやFACEBOOKなどのSNS」が6.7%、「携帯やパソコンのメール」が5.4%となっている(図表5-5)

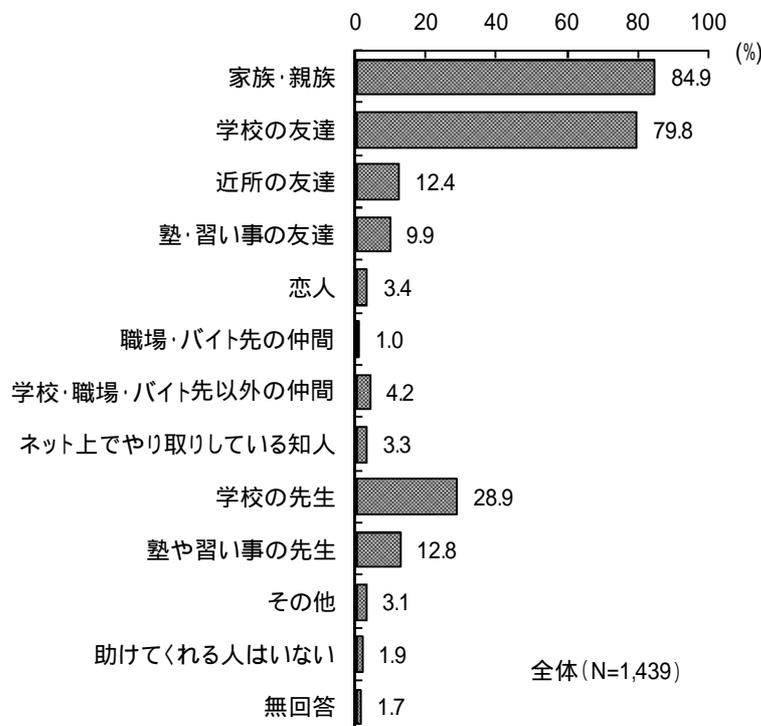
図表5-5 自分の悩みを話す場合の最良の方法(全体)



( 6 ) 困ったときに助けてくれる人 ( 問 22 )

困ったときに助けてくれる人は、「家族・親族(84.9%)」が最も多く、「学校の友達(79.8%)」、「学校の先生(28.9%)」が続いている(図表5-6)

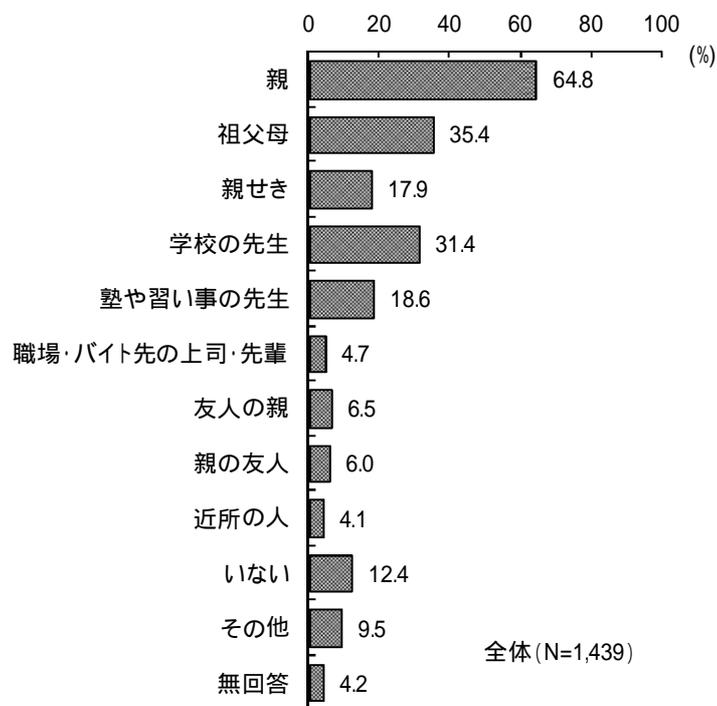
図表5-6 困ったときに助けてくれる人(全体)



(7) 尊敬できる大人(問23)

尊敬できる大人は、「親(64.8%)」が最も多く、「祖父母(35.4%)」、「学校の先生(31.4%)」が続いている(図表5-7)。

図表5-7 尊敬できる大人(全体:複数回答)

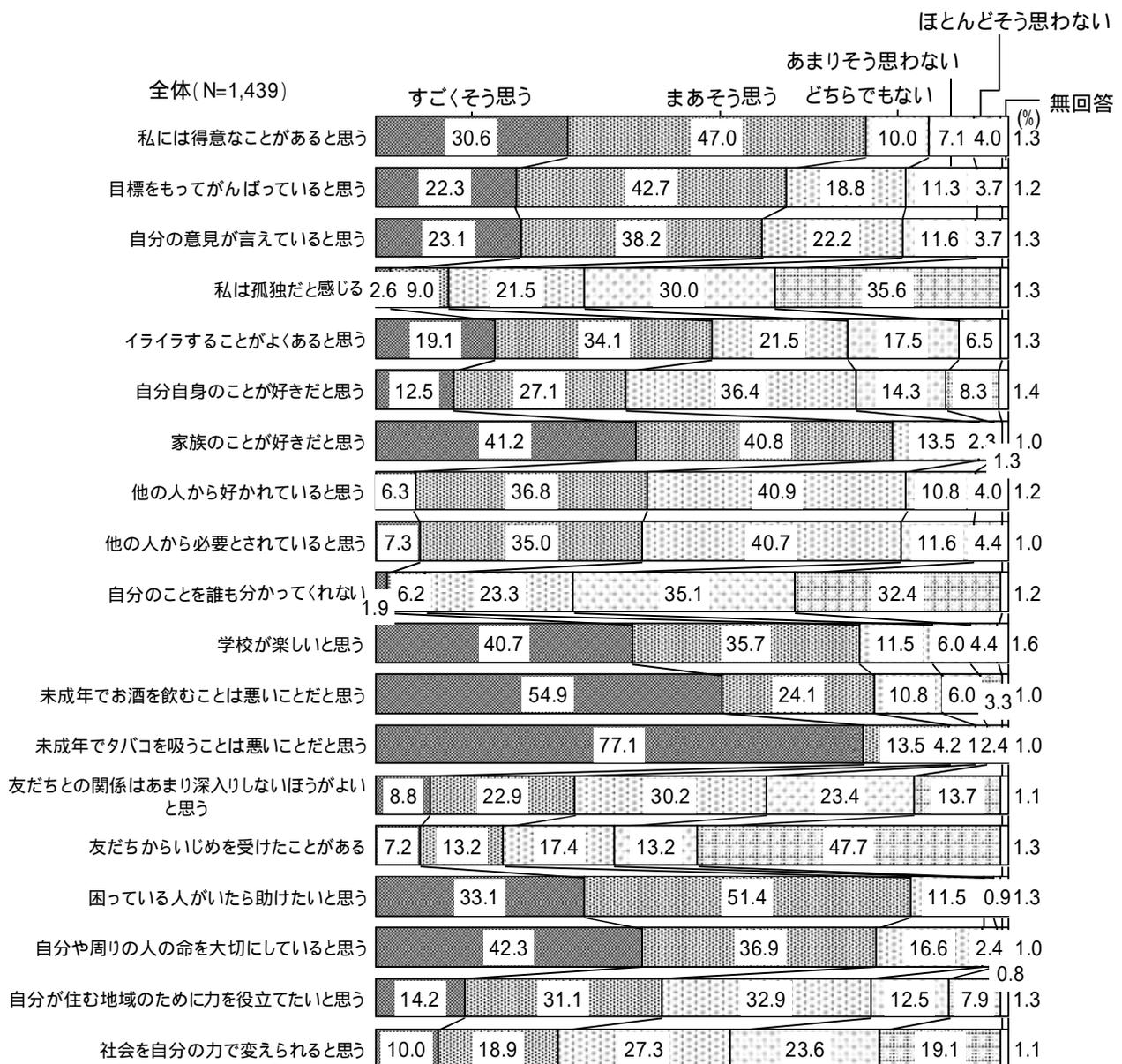


## 6 日ごろの思い

日ごろの思いは、「すごくそう思う」と「まあそう思う」の合計である《思う》の割合は、『未成年でタバコを吸うことは悪いことだと思う(90.6%)』が最も多く、『困っている人がいたら助けたいと思う(84.5%)』、『家族のことが好きだと思う(82.0%)』が続いている。

また、多くはないが《思う》の割合は、『私は孤独だと感じる』で11.6%、『自分のことを誰も分かってくれない』で8.1%、「友だちからいじめを受けたことがある」で20.4%となっている。また、『他の人から好かれていると思う』で《思わない》(「あまりそう思わない」と「ほとんどそう思わない」)が14.8%、『他の人から必要とされていると思う』で16.0%となっている(図表6-1)。

図表6-1 日ごろの思い(全体)

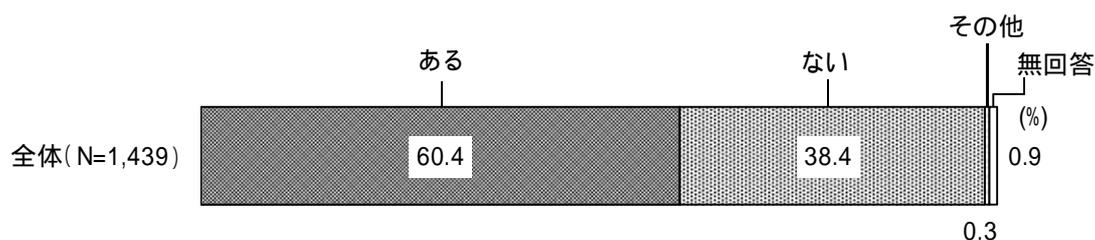


## 7 ボランティア

### (1) ボランティア活動経験の有無 (問 26)

ボランティア活動経験の有無は、「ある」が60.4%となっている(図表7-1)。

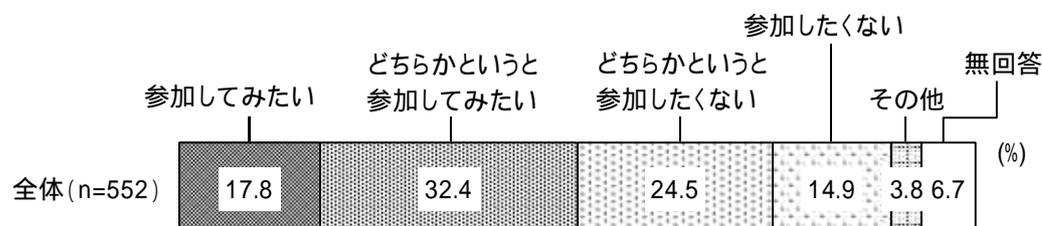
図表7-1 ボランティア活動経験の有無(全体)



### (2) ボランティア活動への参加意向 (問 26-1)

ボランティア活動への参加意向は、「参加してみたい」が17.8%、「どちらかというに参加してみたい」が32.4%であり、合計すると50.2%に参加意向がある(図表7-2)。

図表7-2 ボランティア活動への参加意向(全体)  
< ないと回答した人 >

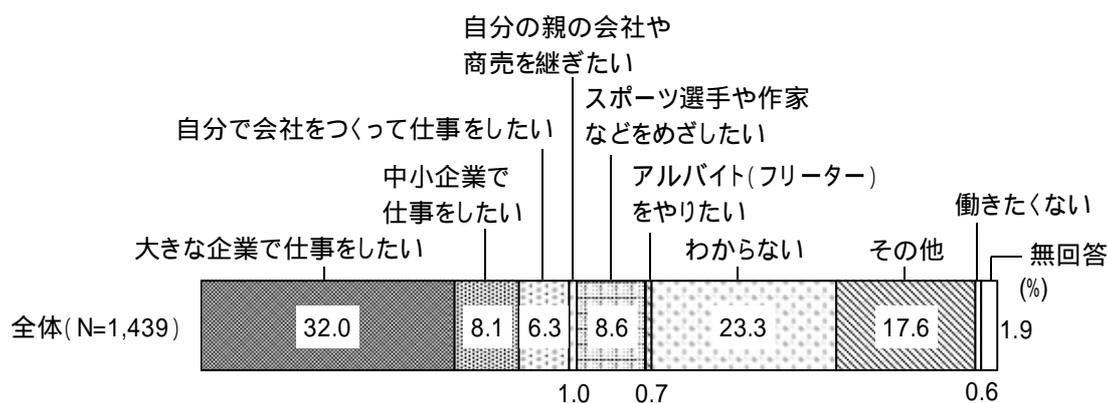


## 8 将来

### (1) 働き方への希望 (問 27)

働き方への希望は、「大きな企業で仕事をしたい (32.0%)」が最も多く、「わからない (23.3%)」が続いている (図表 8 - 1)。

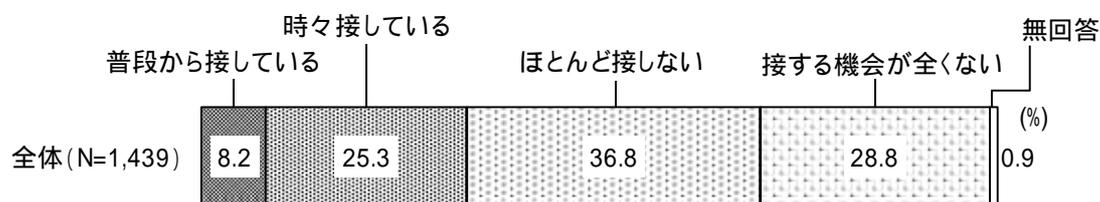
図表 8 - 1 働き方への希望 (全体)



### (2) 乳幼児とふれあう機会の有無 (問 28)

乳幼児とふれあう機会の有無は、「普段から接している」が 8.2%、「時々接している」が 25.3%を合計すると、33.5%となっている。「接する機会が全くない」は 28.8%となっている (図表 8 - 2)。

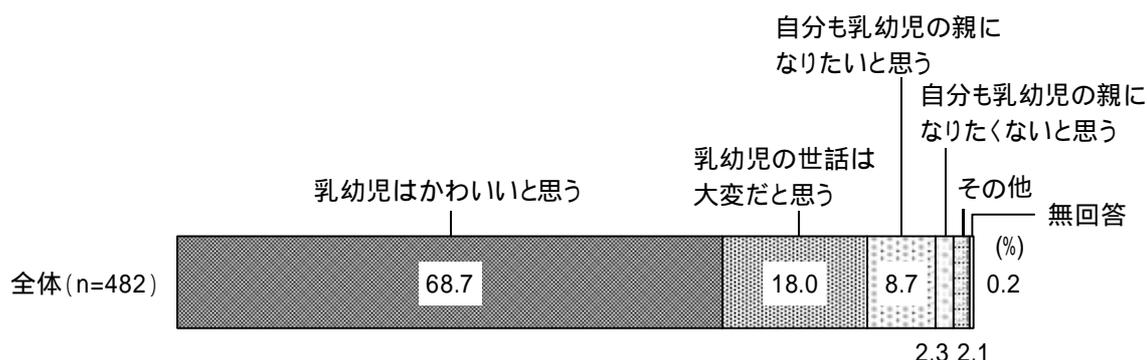
図表 8 - 2 乳幼児とふれあう機会の有無 (全体)



(3) 乳幼児とふれあうときの気持ち (問 28 - 1)

乳幼児とふれあう機会について「普段から接している」、「時々接している」と回答した人に、乳幼児とふれあう時の気持ちをたずねたところ、「乳幼児はかわいいと思う」が 68.7% を占め最も多く、「乳幼児の世話は大変だと思う (18.0%)」、「自分も乳幼児の親になりたいと思う (8.7%)」が続いている (図表 8 - 3)。

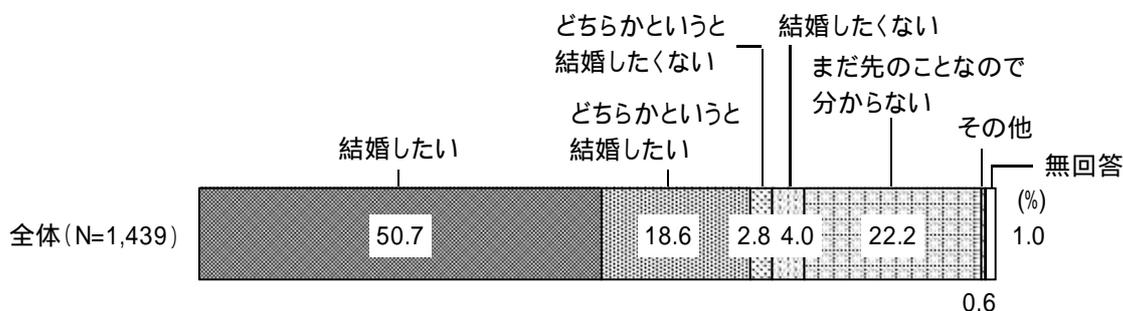
図表 8 - 3 乳幼児とふれあう時の気持ち (全体)  
 < 乳幼児に接していると回答した人 >



(4) 結婚への希望 (問 29)

結婚への希望は、「結婚したい」が 50.7%、「どちらかという結婚したい」が 18.6%であり、合計すると《結婚したい》人は 69.3%となっている。一方、「どちらかという結婚したくない」が 2.8%、「結婚したくない」が 4.0%であり、合計すると《結婚したくない》人は 6.8%となっている。「まだ先のことは分からない」は 22.2%となっている (図表 8 - 4)。

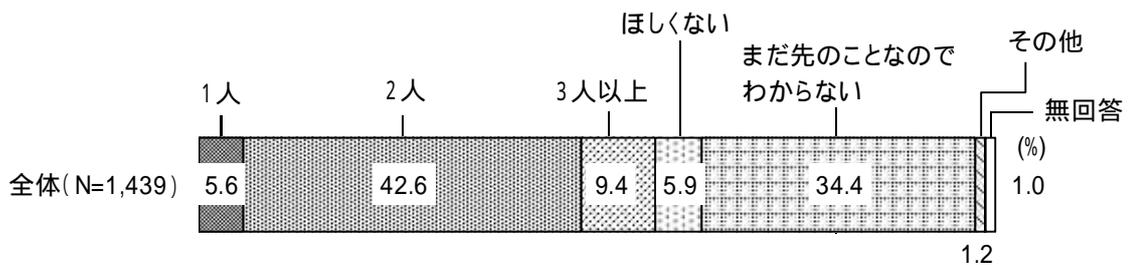
図表 8 - 4 結婚への希望 (全体)



(5) 子どもが欲しいか (問 30)

子どもが欲しいかは、「1人」が5.6%、「2人」が42.6%、「3人以上」が9.4%であり、合計すると子どもが欲しいと考えている人は57.6%となっている。また、「ほしくない」は5.9%、「まだ先のことなのでわからない」は34.4%となっている(図表8-5)。

図表8-5 子どもが欲しいか(全体)



(6) やりたいことや夢の有無 (問 31)

やりたいことや夢の有無は、「ある」が73.2%、「ない」が9.3%、「わからない」が16.4%となっている(図表8-6)。

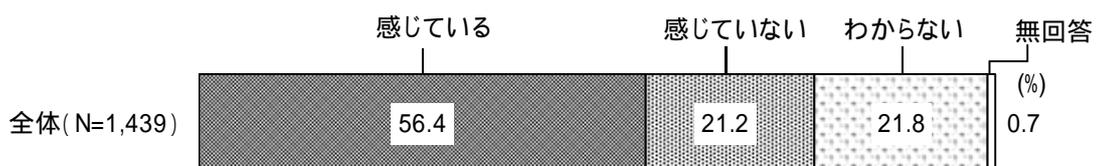
図表8-6 やりたいことや夢の有無(全体)



(7) 将来への不安 (問 32)

将来への不安は、「感じている」が56.4%、「感じていない」が21.2%、「わからない」が21.8%となっている(図表8-7)。

図表8-7 将来への不安(全体)

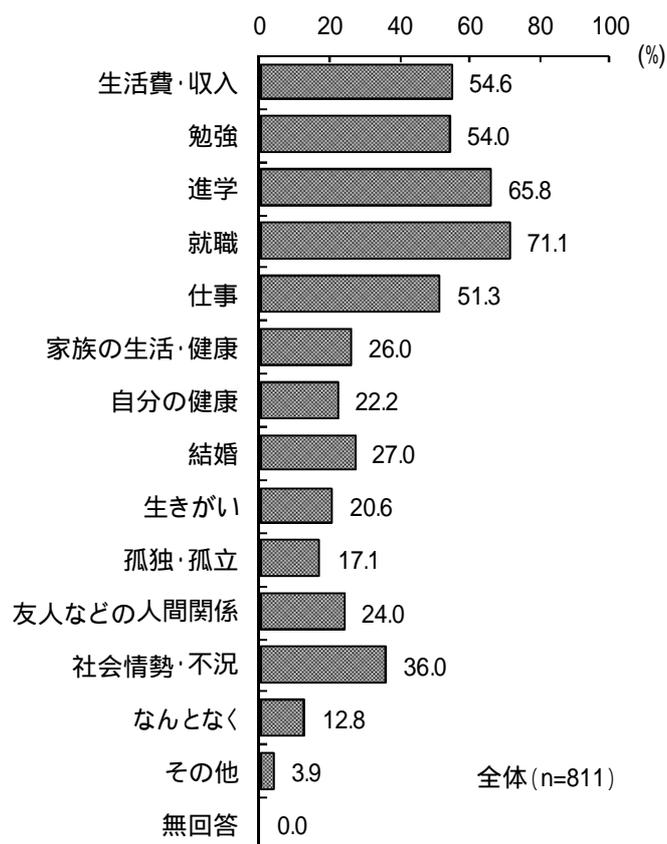


( 8 ) 不安の内容 ( 問 32 - 1 )

将来への不安を感じている人に不安の内容をたずねたところ、「就職 ( 71.1% )」が最も多く、「進学 ( 65.8% )」、「生活費・収入 ( 54.6% )」、「勉強 ( 54.0% )」、「仕事 ( 51.3% )」が続いている ( 図表 8 - 8 )。

図表 8 - 8 不安の内容 ( 全体 : 複数回答 )

< 将来への不安を感じている人 >



## 9 区への関心、要望

### (1) 世田谷区の施策の認知度 (問 33)

#### 「世田谷区子ども条例」の認知度

「世田谷区子ども条例」の認知度は、「知っていた」が 16.1%となっている (図表 1 - 9 - 1 - 1 )。

図表 1 - 9 - 1 - 1 子ども条例の認知度 (全体)



#### 「せたホッと」の認知度

「せたホッと」の認知度は、「知っていた」が 15.6%となっている (図表 1 - 9 - 1 - 1 - 2 )。

図表 1 - 9 - 1 - 2 セタホッと認知度 (全体)

